



テーマは「touch the future」 「プリント4.0」の流れ顕著に

新たな戦略・ブランディングのもとで準備が進められてきた世界最高峰の印刷・クロスメディアソリューション専門メッセ「drupa2016」（主催：メッセ・デュッセルドルフ）が、2016年5月31日から6月10日までの11日間、ドイツ・デュッセルドルフ見本市会場において開催される。「touch the future」をテーマに、drupaは業界ごとのイノベーションに焦点を当て、未来の技術を発表する場を提供。主に、印刷、包装、マルチチャネルコミュニケーション、3D印刷、機能性印刷、グリーン印刷における近未来の刺激的なトレンドが焦点となる。

近未来の刺激的な技術・トレンド示す

会期を14日間から11日間に短縮するとともに、開催周期を4年から3年へと変更することを決め、新たな戦略・ブランディングのもとで開催される「drupa2016」。合併や業界再編などにより、出展者数は前回のdrupa2012よりも減少する見込みだが、drupa2016統括部長のザビーネ・ゲルダマン氏は「これがdrupa自体の質の高さに影響するわけではない。国際的なグローバルプレイヤーやマーケットリーダーをはじめ、世界中の革新的な企業などが一堂に会し、印刷およびクロスメディアの技術やソリューションのすべてが集結する。包括的に業界全体を見渡せるのがdrupaの強みだ」と説明する。

1951年の第1回開催から今回で第16回目を迎える「drupa2016」には、世界約50カ国からおよそ1,500社がエントリー。見本市会場19ホールを使用し、最新かつ近未来の印刷業

界を示し、多用性とイノベーションを発信する場となる。

drupa2016でキーワードとなるのが「プリント4.0」である。「プリント4.0は、デジタル印刷、高品質な包装、産業用印刷および機能性印刷におけるソリューションの急速な成長の中で、個別化とカスタマイズを可能にするもの。そしてこれがdrupa2016のひとつの大きな流れとなるだろう」と説明するのは、drupa2016実行委員会会長兼KBA社長のクラウス・ボルツァ＝シューネマン氏だ。「ネットワーク化されたプロセスチェーンのおかげで、プリント4.0はすでにインダストリー4.0の主役となっている。我々にとって、これは機械とシステムをインテリジェントネットワークで接続することによって、徹底したデジタルワークフローが可能になったことを意味している」

このネットワーキングは、まさに今回のdrupa



のテーマであり、その開催周期と構造を決定する要素にもなっている。これまでと同様の業界ごとに区分けた構造は、もはや適切ではなくなったわけだ。したがって今回は、来場者が目的としているものをより簡単に見つけられるように、中心となる製品・技術を各ホールに据えている。

平成28年 新春講演会・新年互礼会のご案内

28年1月27日（水）、恒例の平成28年「新春講演会」並びに「新年互礼会」を帝国ホテル大阪において開催いたします。

今回の講演会は、講師に株式会社TSIプランニング 執行役員シニアフレキシオアドバイザーの塚田昌氏をお迎えし、「日本の軟包装印刷業界事情&水性フレキシオの現状」と題して開催させていただきます。組合員ご自身はもとより管理職、営業部門の方々をお誘いの上、是非ご聴講くださいますようお願いいたします。

詳細は近日中にご郵送させていただきます

日時 平成28年1月27日（水）17:15より

場所 帝国ホテル大阪

大阪市北区天満橋1-8-50

【新春講演会】4階 牡丹の間 17:15～

〈演題〉日本の軟包装印刷業界事情&水性
フレキシオの現状

〈講師〉株式会社TSIプランニング

執行役員シニアフレキシオアドバイザー
塚田 昌 氏

【新年互礼会】4階 芙蓉の間 19:00～